



Helicobacter pylori 感染の検出のための生検に基づく方法の比較

KEYWORDS// *Helicobacter pylori*, ウレアーゼ検査

H. pylori 感染は世界中に広がり、ヒトの半数の胃に検出され、胃炎、十二指腸潰瘍、胃癌などを引き起こす。この細菌の検査法には種々のものがあるが、著者等は生検に基づく方法の感度、特異度、陽性的中率 (PPV) および陰性的中率 (NPV) を *H. pylori* の 16S rRNA 遺伝子の PCR を基準に比較した。検討対象は消化不良症状を有する患者 75 人 (男 49 人、年齢 17~77 歳) とした。内視鏡検査中に採取した胃前庭部の試料は 40% 尿素溶液を含む尿素寒天培地 (尿素検査)、市販迅速ウレアーゼ検査、組織学的検査および PCR により試験した。尿素検査の感度、特異度、PPV、NPV は *H. pylori* 感染の診断が市販迅速ウレアーゼ検査

および組織学的検査でなされたときにはそれぞれ 97%, 86%, 84%, 97% であった。市販迅速ウレアーゼ検査の感度、特異度、PPV、NPV は、*H. pylori* 感染の診断が尿素検査および組織学的検査でなされたときにはそれぞれ 100%, 82%, 80%, 100% であった。尿素検査は市販迅速ウレアーゼ検査に匹敵する性能を示し、安価で迅速なウレアーゼ検査として使用できる。

(Yakoob J, Abid S, Jafri W, et al : Comparison of biopsy-based methods for the detection of *Helicobacter pylori* infection. Brit J Biomed Sci 63 : 159-162, 2006)

(埼玉県立大学短期大学部 鈴木優治)